

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

(1)2022年1月1日にWA競技規則TR5の改正と、新たな「競技用靴に関する規程」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長及び競技役員はいつでもシューズチェックすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になる。競技後にシューズの違反が認められた場合は審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは招集時に行う。)

靴底の厚さに関する規程(TR5.2)表 ※2024年10月31日まで

種 目	靴底最大の厚さ TR5.5、TR5.2	要 件 ・ 備 考
フィールド競技 (除: 三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

なお、本記録会は全フィールド種目で「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規程を適用除外する。

(2) イエローカード(以下、YC)について

①WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19 に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算は無く、種目ごとに累積リセットする。

②同一種目での2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの提示の累積は、当該種目のみに適用する。

(3) 招集所及び競技エリア内で携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を所持または使用することはできない(TR6.3.2)。

2. 競技場への入場について

競技者・付添等の関係者は指定された出入口(1F正面玄関・2F正面)から入退場すること。入場証は不要とするが各校顧問が入場者の把握に努めることとする。観戦は学校関係者のみとし、各校との関係について確認を取ることがある。

3. 競技場の使用について

(1) 横断幕、ノボリの設置は南北の芝スタンド(土盛スタンド)後方およびバックスタンド後方のみとする。

(2) テントの設置について

①正面の階段スタンドには設置しないこと(学校単位での場所取りは禁止)。

②テントは芝生スタンド・バックスタンドに設置し、ロープ等が通路にかからないようにすること。

(3) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること(帰路では捨てない)。

(4) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

(5) 更衣室は10名以内で更衣のみの利用とする。使用時間は1人5分以内とする。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

4. 練習について

- (1) 練習中の走る方向は競技会と同じ方向への一方通行とし逆走は禁止。学校・個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する
- (2) 競技場内および公園内でのメディシンボールなどの物を投げる練習は一切認めない。
- (3) 走高跳、走幅跳は準備が整った後、競技役員の手指示で練習してもよい。
- (4) 競技開始前のトラックでの練習は次のとおりとする。

競技開始前の競技場での練習について

競技会開始前の競技場（トラック）での練習は、周囲の動きに十分注意して行うこと。
ただし、練習可能時間内であっても競技会準備を優先とし、競技役員の手指示に従うこと。
なお、競技場での練習は、1日目・2日目ともに8時30分までとする。
なお、安全のため日傘の使用を禁止する。

※いずれもジョグはレーン外で ・1、2レーンは長距離ペース走用

【1日目】

○ホームストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = 直線からのスプリント練習

○バックストレート

3～6レーン = リレー練習

※リレーバトン練習は1→2走 ・ 3→4走は第2コーナー、
2→3走は第3コーナーで行うこと。

各校で使用したリレーのマーク（テープ）は必ず取り除くこと。

7レーンは使用しない（接触等の防止のため）

8レーン = 女400mH 9レーン = 男400mH

【2日目】

○ホームストレート

3～7レーン = 直線からのスプリント練習

8レーン = 100mYH 9レーン = 110mJH

○バックストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = 直線からのスプリント練習

- (5) 投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の手指示で練習してもよい。

5. 招集について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

- (1) 招集場所は室内練習場とする。
- (2) 招集は競技開始時刻前の下記時刻で行う。

招集時間	トラック	跳躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	80分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	70分前

- (3) 競技者は招集開始時刻には招集場所にて上半身競技服装になり、競技者係より点呼を受け、アスリートビブス・腰ナンバーカードおよびスパイクピンの確認を受けてそのまま待機し、招集完了時刻に競技役員の手指示により移動すること。

- (4) 招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、**第1種目の招集開始時刻までに「多種目同時出場届」**を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならないが、提出をした第2種目は代理をたてる必要はない。提出時には、競技服装・アスリートビブス・スパイクの確認を受けること。
- (5) リレー種目について
 - ・オーダー用紙は**第1組の招集完了時刻の60分前**までに競技者係へ提出すること。
 - ・リレーの招集は4人揃って受けること。ただし、他種目に出場している時は「多種目同時出場届」を提出することで、代理を立てる必要はない。
- (6) やむを得ず欠場する場合は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。

6. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4x400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (2) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・(やり投)については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近くで少なくとも長さの半分は4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック種目では、すべてタイムレースとするが、100mは決勝レースを行う。
- (4) トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、競技場内のバックスタンド前を通過してスタート地点に帰ること。
- (5) 競技エリア内に通信機器(携帯電話等)やビデオ撮影機器(タブレット等)を持ち込んで서는ならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。
- (6) 集団での声援(応援)及び不正な助言行動は自粛すること。

(7) フィールド種目について

- ① トップ8を行う。
- ② 跳躍種目はセクションラインを設ける(但し、走幅跳・三段跳は、1回は全員計測)。
 - 走高跳【男子】 1m50 【女子】 1m25 走幅跳【男子】 5m20 【女子】 4m20
 - 三段跳【男子】 11m00 【女子】 9m00
- ③ 走幅跳は1組(メインスタンド前トラック側)、2組(メインスタンド側)で行う。三段跳は1年生(メインスタンド前トラック側)、2年生(メインスタンド側)で行う。走高跳は第一曲走路内側で行う。棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。
- ④ バーの上げ方は下記のとおりとする。※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。

男 走高跳	現場判断 練	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以降 3cm
女 走高跳	現場判断 練	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降 3cm	
男 棒高跳	現場判断 練	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以降 10cm
女 棒高跳	現場判断 練	2m00	以降 10cm						

- ⑤ 投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。
- (8) フィールド競技の試技制限時間(単独種目)

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技
 ※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

7. 免責事項について

- (1) 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
- (2) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
- (3) Jアラート警報が発令された場合や雷時には、競技を中断・中止する場合がある。その場合は参加料の返金はしない。

8. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
- (3) 競技日程はプログラム記載のものを確認すること。HPにUPされているスタートリストの競技開始時間は参考なので、必ず競技日程を確認すること。
- (4) 補助員は各校1～2名出ること。補助員分担は別頁に記載してある。
- (5) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない。)
- (6) 撮影は許可証(正面玄関1F入口で発行)を必要とし、当該生徒のみの撮影とする。
- (7) 声を出して応援するときは、前後の間隔に配慮すること。
- (8) 盗難が発生しているため貴重品等の持ち物の管理は各校・各自で注意すること。
- (9) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)大会結果は、大阪陸上競技協会のWEB サイト(大阪高体連陸上競技専門部3・4地区)に記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。
- (10) 2日目(21日)の開門抽選は、20日(土)13:00～13:15の間に1階エントランスで行う。
- (11) **大阪高校総体1日目(8/13)の開門抽選は21日(日)13:00～13:15の間に1階エントランスで行う。**

第79回大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部(中央大会)について

日程：8月7日(水)・8月13日(火)・8月14日(水)・8月15日(木)

場所：ヤンマーフィールド長居(7日)・万博記念競技場(13日・14日・15日)

※各地区からの進出数はすべての種目でシード選手・チームを含む合計数とする。

1. 大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部(大阪高校総体)への出場者は以下のとおりとする。

①100m・200mは、1・2地区で上位24名、3・4地区で上位24名の合計48名。

○決勝を実施する100mの選出について

- ・2年男子・2年女子・1年女子は、決勝の各組上位5着までと、各組6着の中から記録上位2名とシード選手2名の合計24名
- ・1年男子は、決勝の各組上位5着までと、各組6着の中から記録上位3名とシード選手1名の合計24名

②400m・800m・1500mは1・2地区で上位20名、3・4地区で上位20名の合計40名。

③ハードル種目および3000mSCは1・2地区で上位16名、3・4地区で上位16名の合計32名。

④4×100mRは地区予選会に参加申し込みをした全チーム。

⑤4×400mRについては1・2地区で上位32校、3・4地区で上位32校の合計64チーム。

⑥フィールド種目は1・2地区で上位12名、3・4地区で上位12名の合計24名。

⑦男子5000m・女子3000mおよび競歩種目は地区予選会を行わず、地区予選会にエントリーした全選手が中央大会に出場できる。

⑧全国IHに出場する者はシードされ、今大会に参加申込した種目すべて大阪高校総体に出場できるが、この大会には出場できない。参加申込は必ず行うこと。(シード選手がエントリーメンバーに入っているリレーチームもシードされ、今大会に出場できない。)但し、4×100mRはオープン参加ができる。
※シード権を放棄し出場することもできる。

⑨地区予選会申込時にエントリー数が①②③④⑤⑥の予選会通過人数を下回る場合は全て本大会に出場できる。尚、エントリー数が一方の地区で①②③④⑤⑥の予選会通過人数に満たない場合、もう一方の地区から大阪高校総体出場枠を増やす。

⑩地区順位決定のための抽選を行うことがある。

⑪その他詳細については各地区主任より連絡する。

2. 大阪高校総体の出場辞退について

- ・大会 2 日目終了後 20 分以内に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。今大会終了後 20 分以降の辞退は受け付けない。
- ・辞退届が提出された場合は、各種目記録上位の者から補充する。ただし、決勝を行う 100m の 2 年男子・2 年女子・1 年女子は、決勝の各組 6 着の中から記録上位 3 位以降から選出とする。1 年男子 100 m は決勝の各組 6 着の中から記録上位 4 位以降から選出とする。(同記録の場合は抽選とする)

3. リレーメンバーの変更について

中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了までにリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。今大会終了後の変更は受け付けない。
(変更のある場合のみ提出すること。変更のない場合は提出しない。)

4. 同記録が出た場合

- ①トラック種目については規則第 167 条に従う (資料あり)。
- ②走幅跳・三段跳・砲丸投については、セカンド、サード記録で決定する。
- ③円盤投・ハンマー投・やり投・走高跳については抽選とする。

資料

規則第 167 条 同成績

2. (着順ではなく) 時間を元にして 166 条 3 (b) によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は 0.001 秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。

上記規則により 1/1000 秒着差あり それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。

※中央大会の出場者の通知は、連絡事項とともに、8 月上旬を目途に顧問あてにメール送信する。その内容を確認し参加者一覧表を作成のうえ、原則、大会に参加する初日に提出すること。なお、大会に係る追加連絡は、随時、大阪高体連陸上競技専門部 HP に掲載するので随時確認すること。

※中央大会への申込は、地区委員が行うので学校別に申し込む必要はない。ただし、参加料については、個人種目 1 種目 500 円、リレー種目 1,000 円、プログラム代金 1 人 500 円 (出場者責任購入のこと) を後日連絡する振込方法にて期日までに振り込むこと。